

本州東限のシマサルナシ(三重県・熊野市)

— ゆかいなマタタビ談議に満悦 —

地元で自然保護の活動をされている室谷さんのネット記事
を拝見し、またまたご迷惑を顧みず、早速現地直行。名古屋
屋經由で6時間、熊野市駅に到着。友人の新田さんとともに
そのまま、近隣の自生地に向かいました。

熊野もそうですが、四国や九州でも、南東向きの太平洋沿
岸にはシマサルナシが高い密度で自生しています。いずれも
温暖で雨量が多く、午前中の日射に恵まれている点で共通し
ています。

熊野には秦の始皇帝が遣わした徐福をまつる神社があり、
山口県・祝島のコッコーにまつわる徐福伝説とのつながりに
不思議な縁を感じました。

夜は、鍋を囲んで海のはなし、星のはなし、シマサルナシ
のはなしで大いに盛り上がりました。今も、とれとれのアカ
ヤガラが味が忘れられません。

二〇〇五年十一月二日

